

感染症発生状況

令和8年8月5日

各保育施設の長様

盛岡市子ども未来部子育てあんしん課長

令和8年7月27日（月）～7月31日（金）の定点における発生状況をお知らせします。

定点23園の対象園児数（定員）は2,502名です。

この週の延べ欠席者数 【園児】415名 【職員】3名

1日あたりの延べ欠席者数 【園児】83名

欠席理由の主なもの（下記の人数は延べ人数です。）

【園児】症状別：熱（145名）、咳鼻水（47名）、下痢腹痛（34名）、発疹（19名）

疾病別：手足口病（180名）、ヘルパンギーナ（17名）、インフルエンザ（8名）

【職員】症状別：なし

疾病別：手足口病（7名）、水痘（1名）

手足口病とヘルパンギーナが流行の最盛期を迎えたようです。

どちらも接触と飛沫感染がメインです。

手洗いとうがいの励行をお願いします。

【疾病別の発生状況】

手足口病 玉山地区、厨川地区、河北地区、盛南地区、都南地区で増加しました。
河南地区で減少しました。

ヘルパンギーナ 厨川地区、河北地区、都南地区で増加しました。

インフルエンザ 河南地区で増加しました。

【県の状況（7/20～7/26）】

手足口病の定点当たり患者数は6.85人となり、今年初めて警報値（5.0人）を超えました。保健所別では県央、盛岡市、一関、二戸、中部地区で警報値を超えています。本症は口の中や手足に水疱を伴う複数の発疹が現れます。子供を中心に主に夏に流行するウイルス感染症です。飛沫感染、接触感染、糞口感染で広がります。乳幼児が集団生活をする保育施設や幼稚園では特に注意が必要です。予防には、石けんと流水による手洗いの励行、タオル等の共用を避ける、おむつ交換時等の排泄物の適切な処理が有効です。

夏風邪といわれる手足口病、ヘルパンギーナ、咽頭結膜熱等の感染症が県内でも増えてきました。原因はコクサッキーウイルス、エンテロウイルス、アデノウイルスで、発熱や発疹、咽頭痛、結膜炎などの症状を伴います。これらの感染症は主に飛沫感染・接触感染により広がるため、予防には丁寧な手洗いと咳エチケットが有効です。手指消毒や共有物のアルコール消毒等、日常的な衛生管理も忘れずに行いましょう。

夏休みに海外旅行する際は、事前に厚生労働省検疫所ホームページ FORTH 等を確認し、対策を講じましょう。特に麻しんは海外での流行が継続しており、注意が必要です。帰国後に発熱等の症状が見られた場合は、医療機関に渡航歴を伝えることも重要です。

◆岩手県新型コロナウイルス感染症関連情報

<https://www.pref.iwate.jp/kurashikankyuu/iryou/covid19/index.html>

【盛岡市医師会（感染症対策委員会）】

質問・相談先 盛岡市医師会幼稚園保育園部会

電話 625-5311 ファックス 651-9822

【担当 盛岡市役所子育てあんしん課育成係 電話613-8347（ダイヤルイン）ファックス652-3424】